

保育計画成果報告書

法人名等	一般社団法人サンベビー保育園
施設名	サンベビー保育園
報告者（役職）	富岡 智子（主任）
住所・連絡先	東京都北区東十条4-5-15 メゾンドマルグリット1F
	☎ 03-6903-3642
	E-mail sunbaby@tbz.t-com.ne.jp

○タイトル（保育計画）

子どもが主役！保育園のおうちづくり

○主な助成備品

絵本一式、本棚、ベビーベッド、ベビーチェア

1. 保育計画策定の目的

当園は認可外保育施設（保育室、定期利用保育施設）として41年間運営し、平成30年4月1日に小規模保育園として開園いたしました。

小規模保育園としては、区内で現在一番広い保育園です。お預かりする子どもたちやこれから長く働く保育士のためにも良い保育園を作りたいとの思いから、現在のような広い保育園となりました。開園に当たり、必要な備品遊具を優先させたため、古くからの保育園の備品も使用している状態でした。

特に0歳児は、ようやく首の座った子どももいれば、既に1歳を迎え歩いている子どもが混在しているような状態です。

そのため、新しいベビーベッドと月齢に合わせたテーブル付きのイスがあれば、より安全に保育ができると考えました。

また、費用の関係で断念した「図書スペース」に本棚と絵本を置き、日中子どもたちが興味を持っている本を知ったり、貸し出しをすることにより、親子の会話や子どもに対する興味関心を上げられるよいきっかけになればと考えました。

2. 具体的な実施内容

【ベビーベッド】

高月齢の子どもと低月齢の子どもでは、午睡の時間、タイミングなどが異なります。状況に応じ、布団とベビーベッドを使用し、年度末の進級時には全員が布団に移行できているようになりました。

【ベビーチェア】

月齢を問わず、じっと座っていることが苦手な子どもが多く、食事中に動き出す子どもが多いです。子どもの月齢や状況に応じ、ベビーチェア（テーブル付きのイス）と箱イス、ひじ付きのイスなどを使用しました。

【本棚・絵本一式】

設計の段階で予定していた図書スペースに、本棚と絵本を置き、親子の交流の場としました。

実際の保育の中でも、朝の会や午睡前の絵本タイムで読み聞かせを行い、子どもたちの絵本に対する親しみや興味を広げることができました。

また、貸し出しのきまりを作成し、便りや掲示を行うことにより、多くの親子が本を借りられるようにしました。



(設置前)



(設置後)



たくさんの本が並んでいます！



貸し出しノート

3. その成果と評価

【ベビーベッド】

低月齢の子どもは、ベビーベッドを使用することにより、子どもはもちろん、保育士が保育をするうえでも、午睡を安心して行うことができるようになりました。



ベッドでの寝かしつけ

【ベビーチェア】

箱イスやひじ付きのイスでは、じっと座っていることが苦手な子どもが多く、立ち上がったたり、歩き出す子が見られましたが、テーブル付きのイスを使用することにより、落ち着いて食事がとれるようになりました。



0歳児の食事風景

【本棚・絵本一式】

読み聞かせを始めたころは、絵本に興味を持たず歩き出す子どももいましたが、今では静かに座って聞けるようになりました。

保育の場でも活用することができましたが、お迎えに来られた時に、必ず絵本コーナーに立ち寄り、親子で本を読んで帰られたり、親同士の交流の場ともなりました。

また、貸し出しを行うことにより、お家でもお気に入りの本を読んでもらうなど親子の触れ合いの時間が取れ、子どもたちからは絵本から飛び出したフレーズもたくさん聞かれ、言葉や情緒の発達、想像力を育む一助になったと感じています。



大型絵本の読み聞かせ



夕方の親子の風景

4. 今後の課題と展望

- ・保護者や職員から寄付いただいた絵本も増えましたが、保護者、職員の意見、要望を取り入れ、子どもたちが喜ぶ絵本、保育者が読ませたい絵本などを増やしていきたいと思っています。
- ・来年度からは、ボランティアによる読み聞かせを実施していただく予定です。園にある本だけでなく、多岐にわたる絵本を知り、交流するいい機会になると思います。絵本への興味が増え、より一層感受性豊かな子どもに育ててくれることを願っています。

これからも、子どもたちの笑顔と笑い声の絶えない保育園であり続けられるように、職員一同努力をしていきたいと思っています。

この度は助成をいただき誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

以上